

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 8 月 5 日(2022.8.5)

【公開番号】特開 2021-19924(P2021-19924A)

【公開日】令和 3 年 2 月 18 日(2021.2.18)

【年通号数】公開・登録公報 2021-008

【出願番号】特願 2019-138798(P2019-138798)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 7 月 26 日(2022.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抽選にて当ると遊技者に特典を付与すると共に、少なくとも 1 つの演出媒体を用いて遊技の状況に応じて演出を行う遊技機であって、

前記抽選を行う抽選手段と、

同一の前記演出媒体が少なくとも用いられる前記演出である第 1 及び第 2 演出を実行する演出手段と、を備え、

前記第 1 演出にて前記演出媒体が作動する期間を、第 1 作動期間とすると共に、前記第 2 演出にて前記演出媒体が作動する期間を、第 2 作動期間とし、

前記演出手段は、前記第 1 作動期間と前記第 2 作動期間とが重複するか、又は、前記第 1 作動期間と前記第 2 作動期間との間隔が予め定められた閾値を下回る場合には、前記第 1 及び第 2 作動期間の一方の終了後、予め定められたインターバルを空けた後、前記第 1 及び第 2 作動期間のうちの他方が到来するよう、前記第 1 及び第 2 作動期間の前記他方の作動期間の長さを維持し、開始時期を変更し、

前記第 1 及び第 2 演出にて用いられる前記演出媒体は、触覚を介して遊技者に刺激を与えるよう構成されていること、

を特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題に鑑みてなされた請求項 1 に記載の遊技機は、抽選にて当ると遊技者に特典を付与すると共に、少なくとも 1 つの演出媒体を用いて遊技の状況に応じて演出を行う。遊技機は、抽選を行う抽選手段と、同一の演出媒体が少なくとも用いられる演出である第 1 及び第 2 演出を実行する演出手段と、を備える。ここで、第 1 演出にて演出媒体が作動する期間を、第 1 作動期間とすると共に、第 2 演出にて演出媒体が作動する期間を、第 2 作

40

50

動期間とする。演出手段は、第 1 作動期間と第 2 作動期間とが重複するか、又は、第 1 作動期間と第 2 作動期間との間隔が予め定められた閾値を下回る場合には、第 1 及び第 2 作動期間の一方の終了後、予め定められたインターバルを空けた後、第 1 及び第 2 作動期間のうちの他方が到来するよう、第 1 及び第 2 作動期間の他方の作動期間の長さを維持し、開始時期を変更し、第 1 及び第 2 演出にて用いられる演出媒体は、触覚を介して遊技者に刺激を与えるよう構成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記構成によれば、第 1 及び第 2 作動期間が重複したり近接したりする場合には、第 1 作動期間と第 2 作動期間との間にインターバルが設けられるよう、第 1 及び第 2 作動期間の一方の開始時期が変更される。このため、第 1 及び第 2 演出が並行して行われる場合や、第 1 及び第 2 演出が連続的に行われる場合であっても、遊技者は、各演出での演出媒体の作動が、別の演出として行われたものであることを把握し易くなる。したがって、並行して行われる複数の演出や連続的に行われる複数の演出で 1 つの演出媒体を共用でき、演出媒体を有効に活用できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50